

令和元年度 第1回宝達志水町社会教育委員会議

<日時> 令和元年5月16日(木) 午後7時～

<場所> 生涯学習センター「さくらドーム21」
2階 第2会議室

■出席者

<社会教育委員> 向瀬議長、池田副議長、中村委員、美作委員、平畠委員、豊田委員、赤池委員、西住委員

<事務局> 北山教育長、定免課長、浅川課長補佐、赤尾主幹、角見主任

1 開会あいさつ

・北山教育長あいさつ

2 社会教育委員について

(1) 委員の紹介

(2) 委嘱状の交付

(3) 議長及び副議長の選出について

} 事務局説明

議長に向瀬泰興氏、副議長に池田義隆氏を選任

3 議件

(1) 令和元年度宝達志水町教育行政の基本方針について

(2) 令和元年度社会教育委員活動計画について

(3) 令和元年度社会教育関係事業について

} 事務局説明 承認

議長・・・石川県社会教育委員研究協議会での奨励研究発表については、『宝達山クリーン登山』の発表を考えている。私が発表者となるつもりだが、皆さんにサポートをお願いしたい。

事務局・・・研究大会は毎年、年に1回、県下の社会教育委員が集まって、3市町が奨励発表を行う。今年度は当町が発表を行うので、事務局からご案内をした折には、ぜひ出席してほしい。

委員・・・宝達山クリーン登山は実施しないこととなったが、町としてこの事業に代わる新規事業について、何か考えているのか。

事務局・・・クリーン登山は15年間やってきた事業だったが、クマとかイノシシの問題もあり、サポートしてくれていた猟友会の都合が悪くなって、子どもたちに不安を抱えたままでは親御さんの心配もあるので、止めさせていただいた。小・中・高校生がグループになって山に上がるという、助け合う良い事業だった。代わるものとして、今年度一年かけて考え、来年度予算化していきたい。参天製薬さんにもいろいろとご協力いただき

ているので、相談しながら何か考えたい。今のところ、具体的な案はないので、もし委員の皆さんに意見があれば、それを参考にしたい。

委員・・・資料の9ページに「所期の目的を達成」云々とあるが、宝達山クリーン登山の目的とは小中高の連携だったはず。今年は10連休等があり、一年間の授業日数を確保するのが難しい。高校への体験入学に中学3年生全員行かせているので、中・高の連携はとれていると思う。小・中の連携で言えば、小学校で中学校の先生が出前授業を行っている。小・中・高の三者同時にということではなく、効率の良い事を加味してコンパクトなことを考えてはどうか。

事務局・・・学校のカリキュラムの問題もあるということで、一学年全部の生徒ではなくても、小中高の異世代の事業を夏休み中に企画し、参加を呼び掛けるのも一つの案かもしれない。それなら学校には迷惑かけない。

委員・・・自由参加にすると、参加者がぐっと減ると思う。

委員・・・そこの兼ね合いだ。

教育長・・・現場の声なのですが、学校の一番大事な授業を考えず単純に実施することや、昔からやっているものは、途中で見直すなど、常に念頭に置いて検討したり配慮したりする。趣旨を細かく、きちんと説明できないようなことはしないというようにしたい。

議長・・・教育現場の時間の確保という問題も含めて、私は委員として皆さんとともに、クリーン登山の実施に協力してきた。当初、宝達山は非常にゴミが多かった。社会啓発みたいな形で子どもの力を借りて事業を実施したら、自然に関するモラルが周りに広がり徐々にゴミが減少し、きれいな山になった。実際、イノシシ、クマ、スズメバチ、台風等、子どもの安全を担保できなくなったため事業の継続は難しい。事業を継続して、子どもに被害があった場合、誰が責任を取るのかということも課題になる。いい状態で終了できたのではないかと私の所見として思っている。今度、新規事業を考える場合は、趣旨をめぐらせて、念入りに検討していく必要がある。その中で、参天製薬さんのご助力もいただきながら、自然に関連した事業になるのか、例えば、リニューアルされた埋蔵文化財センターで、地元の考古学的な資料を用いて教えるようなことを行う等、いろんな可能性はあると思う。教育委員会からのご意見をいただければ、私どもの協力できることは協力していきたいと思っている。

(4) その他

議長・・・議件以外に関して、何かご質問等ありませんか。

無いようなので、これにて、第1回社会教育委員会議事を終了させていただきます。

4 閉会

・副議長あいさつ

午後7時40分 終了